

【2022年度 キャリア委員会 事業報告】

委員長校 : 関西学院大学

副委員長校: 関西福祉大学、甲南女子大学、神戸国際大学

委員校: 芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、甲南大学、神戸大学、
神戸海星女子学院大学、神戸学院大学、神戸松蔭女子学院大学、神戸親和女子大学、
神戸常盤大学、神戸常盤大学短期大学部、聖和短期大学、園田学園女子大学、
園田学園女子大学短期大学部、姫路獨協大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、兵庫県立大学、
流通科学大学

計24校

<目的>

兵庫県の大学・短期大学・短期大学部・高等専門学校が加盟する大学間連携組織の特徴を生かして、グローバル、ローカルに活躍する人材育成を目指した事業を、県内企業、行政、加盟校キャリアセンターと共に展開する。

<内容>

1. 大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト
2. 県内企業・団体等の魅力を情報発信
3. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)
4. 留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム(県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業)

<期待される効果>

1. 地域創生の推進にあたり県外への人口流出を抑制するために、県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深め共に連携する機会を提供することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、大学生の県内企業への理解不足を解消し、地域の活性化を実現することが期待される。
2. 地域の活性化のためのUJIターン就職の促進と地域産業ニーズに対応した人材育成が期待できる。
3. 各加盟校単独では実施が困難だと思われる留学生に特化したインターンシップの機会を提供することで、留学生の県内企業等への就職意欲の向上が期待される。
4. “ひょうご神戸”の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指し、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することで留学生の受入環境づくりの促進と、卒業後の県内企業への就職の動機付けになることが期待される。

課題① 地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		予算額
取組1	「大学キャリアセンターと連携した 県内大学生の地元就職促進プロジェクト」	5,936,000円 * 受託事業収入
取組2	「県内企業・団体等の魅力を情報発信」	0円
課題④ 外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		予算額
取組1-1	「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」 (ひょうご留学生インターンシップ)	400,000円
取組1-2	「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」 (県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業)	11,498,000円 * 受託事業収入

※事業計画実施の際は、新型コロナウイルス(COVID-19)感染症拡大防止のため、
イベントの内容・方法の変更などについて、状況に応じて委託元の兵庫県とも協議のうえ実施する。

【2022年度 キャリア委員会 事業報告(①取組1)】

【①取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上		
【①取組1】活動指標	各年参加者数500名以上		
課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上		
達成目標【①取組1】	本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上		
課題を解決する取組概要【①取組1】	<p>大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト <若者の地元密着のための就職支援事業> 兵庫県の年齢別転出超過で最も多いのは、大学卒業・就職を契機とした若者であり、県内大学卒業者の『県内企業就職率』は、3割弱に過ぎず、7割以上が県外に本社のある企業に就職している。その要因の一つとして、大学生の県内企業への理解不足があると考えられる。県内大学卒業者の地元への就職について、大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供する。地元企業と加盟校が連携することで、若者のキャリア形成の支援を充実させ、地域の活性化を実現する。</p>		
活動指標【①取組1】	参加学生数：450名以上、参加教職員数：50名以上(2022年度)		
内容(結果)	<p>【兵庫県総務部教育課 受託事業「大学連携組織を活用した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」】 <2022年度実績>参加学生数：470名、参加教職員数：131名、兵庫県内企業理解が深まった割合：87.6% → 対到達目標達成</p> <p>1. 大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 (1) キャリアセンター対象の合同企業説明会 ① 2023年3月9日(木) (協業：兵庫県中小企業家同友会) 参加者：(教職員)7校7名、(企業)45社91名、(行政等)1団体7名 (2) 企業とキャリアセンターとの意見交換会 ① 2022年6月28日(水) (協業：神戸新聞社) 参加者：(教職員)3校3名、(企業)11社25名、(行政等)1団体1名 ② 2022年10月19日(水) (協業：神戸商工会議所) 参加者：(教職員)18校26名、(企業)69社69名、(行政等)2団体5名 ③ 2022年11月17日(木) (協業：北播磨県民局) 参加者：(教職員)17校23名(企業)39社46名、(行政等)2団体7名 ④ 2022年12月6日(火) (協業：淡路市商工会) 参加者：(教職員)11校12名、(企業)12社14名、(行政等)1団体1名 ⑤ 2022年12月17日(土) 大学×企業の情報交換会 参加者：(教職員)12校12名、(企業)14社21名 ⑥ 2023年2月22日(水) (協業：丹波県民局) 参加者：(教職員)15校15名、(企業)15社15名、(行政等)5団体8名 (3) 県内企業魅力発見バスツアー(計3回) → *新型コロナウイルス感染拡大防止のため一部動画作成へ変更 ① 淡路地域編 2022年9月30日撮影、11月16日公開 参加者：(学生)5校7名、(企業)4社11名 ② 但馬地域編 2023年1月27日撮影、3月下旬公開 参加者：(学生)1校6名、(教職員)1校1名、(企業)4社12名 ③ 阪神地域 2023年2月22日バスツアー 参加者：(学生)9校14名、(教職員)1校1名、(企業)4社8名、(行政等)3団体7名</p> <p>2. 大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 (1) 経営者による職業観形成プログラム(計2回) ① 2022年8月22日～30日 マイクロインターンシップ 参加者：(学生)延べ16校38名 (企業)8社11名 ② 2022年12月17日(土) 県内企業との座談会 参加者：(学生)14校61名、(企業)13社20名 ③ 2023年3月7日(火) 新社会人とスタートダッシュ 参加者：(学生)4校12名、(教職員)1校1名、(企業)6社8名、(行政等)4団体6名 (2) 若手社員による学生啓発プログラム(計4回) ① 2022年6月28日(火) 就職サミット2024 参加者：(学生)13校25名、(企業)11社25名 ② 2022年11月5日(土) ライフキャリアを考える 参加者：(学生)8校15名、(教職員)1校1名、(企業)15社17名、(行政等)2団体2名 ③ 2022年11月22日(火) GDで学ぶ企業人事の採用視点 参加者：(学生)8校24名、(企業)6社8名 ④ 2022年12月17日(土) 合同模擬グループディスカッション 参加者：(学生)14校61名、(教職員)12校12名、(企業)14社21名 ⑤ 2022年12月17日(土) 面接大作戦 参加者：(学生)14校61名(教職員)12校12名、(企業)14社21名 ⑥ 2023年2月25日(土) 選考を通過するES・面接の本質とは?! 参加者：(学生)7校26名、(教職員)3校5名 ⑦ 2023年3月9日(木) ひょうご就職サミット 参加者：(学生)48校120名、(企業)45社91名、(行政等)1団体7名</p>		
新しい試み等(事業計画に記載)	昨年度実施した「産官学連携によるリーダーシップ育成講座」を発展させ、コンソの特性を活かした産官学連携の場での新しい企業研究手法として、マイクロインターンシップ(企業のリアル課題を解決するための質問会議に企業と学生が取り組むオンライン・90分のプログラム)を実施することで、加盟校学生に広く、企業理解・コミュニケーション力・全員発揮型リーダーシップを育成する機会を提供する。		
事業収支	収入	支出	収支
	5,936,000	5,936,000	0
自己評価	【対到達目標】	3	【対継続性】
	<p>4 本プログラムは継続すべき 3 本プログラムは継続しても良い 2 本プログラムの継続には改善が必要 1 本プログラムは中止すべき</p> <p><達成目標>本プログラムへの参加を通じて兵庫県内企業理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上 <活動指標>参加学生数：450名以上、参加教職員数：50名以上(2022年度) <2022年度実績>活動指標となる参加学生数に関しては、11月末時点の参加学生数：60名、教職員数：53名。事後アンケート結果「県内企業への理解や興味は深まった」79.15%。今後開催イベントでの参加見込み学生：約400名、教職員：50名のため、目標値(学生：450名、教職員：50名)は達成できる見込みである。</p> <p>1. 大学キャリアセンター教職員に対する県内企業の理解促進に向けた取組 意見交換会は企業と学校が一同に会える場において企業開拓と企業理解を同時に行えるのが大きな利点であり、学生支援に幅を持たせることができよう。バスツアーについてはコロナ禍のため、本年度も企業紹介動画作成に変更。コンソHPにて広く公開することにした。動画の企画・撮影については神戸大学・関西学院大学・神戸市外国語大学・神戸女学院大学、ナレーションについては神戸松蔭女子大学の学生に協力してもらい、学生の企業研究機会提供の場ともなった。この動画配信については、3年間で6本作成し、県内各地域の企業紹介として一定の成果をあげていることから、次年度は別の形で県内企業の理解促進に向けた取組を考えたい。</p> <p>2. 大学生に対する県内企業の理解促進に向けた取組 県内大学に所属する学生たちが、経営者や若手社員との交流を通して仕事に対する考え方やライフキャリアの様々な視点を持つことで、県内での就職や生活するメリットを感じ、県内企業への就職の可能性を見出だした。また、就職活動行動に繋がるなど、次へのアクションへのきっかけを提供できた。また、社長の参加がある企業からは経営者の熱い想いを直接受け取り、会社の存在意義や今後の発展に必要な考え方、若い力の必要性などを学べた。さらに、単に企業紹介だけでなく、社会人としての働き方や生き方についてじっくり話ができる機会にもなった。県内優良企業動画配信についても、その視聴がきっかけとなって内定に繋がる事例が実際に見られていることから、これらの事業を通して学生たちの県内企業への理解や興味関心が深まり、県内企業就職への可能性が見出せているという点において目的を達成できたと考える。</p>		
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	<p>意見交換会では大学側と企業側が相互理解を深める機会を提供することで、現在の地域ニーズ等を共有し、現状を踏まえた就職活動支援を学生に行うことで、学生の県内企業理解向上に繋げて頂いている。</p> <p>県内企業の経営者、若手社員との交流会により、学生が直接的に企業理解を深める場を提供している。対象者(教職員・学生)のニーズ等を検証のうえ、来年度の事業の受託に向けて準備を進めていただきたい。</p>		

【2022年度 キャリア委員会 事業報告(①取組2)】

【①取組2】達成目標	情報公開企業・団体数120社以上
【①取組2】活動指標	情報公開企業および留学生採用情報の追加:15社

課題①	地域の活性化のための県内企業への就職率の向上
達成目標【①取組2】	情報公開企業・団体数120社以上
課題を解決する取組概要【①取組2】	<p>県内企業・団体等の魅力を情報発信 地域の産業界の協力を得て県内企業や団体等の情報を収集し、大学コンソーシアムひょうご神戸のホームページに公開するとともに、兵庫県内の職業紹介サイト等との連携も図る。加えて、県内企業・団体等が求める人材について、情報交換会等を通じ、企業と大学間で人材ニーズと人材育成に関する情報の共有と相互理解を深める。</p>

活動指標【①取組2】	情報公開企業および留学生採用情報の追加:15社(2022年度)
------------	---------------------------------

内容 (結果)	<p><2022年度実績>新たに情報公開する企業15社。既掲載企業の情報更新済。→ 対到達目標達成</p> <p>「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」に随時情報公開。 《掲載内容》業種、資本金、売上高、従業員数、本社所在地、事業内容、経営方針、特色・強み、採用情報(企業HPへリンク)。</p> <p>※本年度新規情報公開企業:15社 キャリア委員校11大学より15社が推薦され、12月のメール審議を経て承認。15社全てから掲載承諾を受け、前年度までの分と合わせた152社の兵庫県内協力企業情報を掲載。 ※既に掲載頂いている138社には、「外国人留学生」の採用予定の有無と、求める日本語能力について確認し、追加情報として掲載。</p> <p>※1/27より、コンソHPにて、2022年度新規掲載企業15社を加えた152社の情報を公開済。 (うち1社について、現在HP更新計画・実施中のため、完了後(2023年5月ごろ)再度連絡、掲載予定)</p>
------------	--

新しい試み等 (事業計画に記載)	「地元で働こう! 兵庫県内企業情報サイト」掲載情報として、新たに外国人留学生採用情報を追加して掲載することで、加盟校留学生にとっても活用できる情報サイトとして充実を図る。
---------------------	---

事業収支	収入	支出	収支	備考
	0	0	0	

自己評価 【12/6:第3回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	3	【対継続性】	4
	<p><達成目標>情報公開企業・団体数120社以上 <活動指標>情報公開企業および留学生採用情報の追加:15社(2022年度) <2022年度実績>現在委員校キャリアセンターからの推薦企業として15社を提出頂いていることから、達成できる見込みである。また、既掲載企業に対して留学生の採用情報を調査し追加掲載する予定。</p> <p>キャリア委員会に所属する24大学と連携し、企業開拓を行っている。具体的には、各大学において、過去10年間にOB・OGを輩出している県内企業を選定し、事務局に推薦頂いたものを、委員会にて審議し、掲載している。そのため、信用度も高く、キャリアセンターに相談に来る学生への紹介や、企業に声掛けする際の情報源として利用されるなど、コンソーシアムならではのオリジナルな情報の提供に繋がっている。2022年度の達成目標に向けて着実な成果を上げることができている。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4:当初計画を上回って達成
- 3:当初計画を達成
- 2:当初計画をやや下回った
- 1:当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4:本プログラムは継続すべき
- 3:本プログラムは継続しても良い
- 2:本プログラムの継続には改善が必要
- 1:本プログラムは中止すべき

理事会からの改善提案 (次年度事業計画に反映)	掲載企業数が、毎年活動指標を上回っている。また、今年度は追加情報として、留学生の採用有無、求められる日本語能力なども掲載し、更なる情報の充実を予定している。引き続き加盟校、県内企業と連携して、協力企業の開拓及び学生に有益な情報の効果的な発信の仕組みの構築について、引き続き取り組んでいただきたい。
----------------------------	--

【2022年度 キャリア委員会 事業報告(④取組1-1)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上

課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		
達成目標 【④取組1-1】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上		
課題を解決する 取組概要 【④取組1-1】	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施（ひょうご留学生インターンシップ） 個別大学では実施が困難な留学生に特化したインターンシップの機会提供を共同で実施し、留学生の県内企業等への就職意欲の向上を図る。参加留学生のニーズを勘案のうえ、受入企業、団体等を決定する。		
活動指標 【④取組1-1】	参加留学生数：10大学・35名以上(最大40名)/年、受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年		
内容 (結果)	<p>留学生支援プログラム(ひょうご留学生インターンシップ)</p> <p><2022年度実績> 修了生数：43名、受入企業数：22社、日本企業・文化理解が深まった割合：100% → 対到達目標達成</p> <p>【プログラムスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語能力試験N1①②③ 6月4日(土) ・推薦学生ガイダンス 6月8日(水) * オンライン開催 ・推薦学生と企業の交流会 6月11日(土) ・事前面談 6月16日(木)17日(金)19日(日) * オンライン開催 ・オリエンテーション・事前研修 6月25日(土) ・事前訪問 7月中旬～9月上旬(一部2023年2月) ・企業・団体実習期間 8月1日(月)～9月16日(金)のうち3日～5日(一部2023年2月) ・事後研修・報告会・修了交流会 9月17日(土) <p>【修了生数】 8大学43名 内訳：神戸大学(10)、関西学院大学(10)、流通科学大学(6)、神戸学院大学(5)、 芦屋大学(4)、神戸国際大学(4)、神戸芸術工科大学(2)、神戸親和女子大学(2)</p> <p>【受入企業数】 22社(うち新規受け入れ先 5社)</p>		
新しい試み等 (事業計画に記載)	2年間のオンライン実施の経験を活かし、オンライン受講の利便性と対面講義の教育効果をミックスした構成でプログラムを実施する。ガイダンスや事前面談などプログラムの一部はオンラインで実施、Google Classroomを利用した情報・提出物管理を行う事で情報把握がしやすくなり、スマートフォンやタブレットでの参加も容易となるなど、受講学生にとっての利便性の向上を図る。		
事業収支	収入	支出	収支
	400,000	0	400,000
	備考 ※インターンシップを、県受託事業の一環としても実施し、受託予算から費用を捻出したため。		

自己評価 【12/6:第3回委員会 メール審議時内容】	【対到達目標】	4	【対継続性】	4
	<p><達成目標> 本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の70%以上</p> <p><活動指標> 参加者数：10大学・35名/年、受入企業・団体等数：20企業・団体以上/年</p> <p><2022年度実績> 実習生：8大学43名、受入企業・団体数：22 本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合：100%。</p> <p>平成22年度より現行の枠組みで実施しており、今年度で14年目を迎えた。13年間で561名の修了生を輩出し、その6割以上が日本で就職しており、日本での就職を希望する留学生にとって意義のあるプログラムとなっている。今年度は8大学から7か国・43名の学生が参加し、22企業・団体での実習が実施された。成果報告会には受入企業(16社)や加盟校が多数出席し、受入企業からは高い評価を得、参加した留学生の意識の向上も認められるなど、当初期待以上の効果を上げることができた。</p> <p>当日参加の受入企業2社から当プログラムを通じて採用に繋がったケースの報告もあり、県内企業にとっても外国籍社員活用のために役立つプログラムとして認知が広まっていること、今後も県内大学と企業の更なる連携により優秀な留学生の教育と活用の循環が活発に生まれることへの期待が示された。インターンシップを通して受入企業との親密な関係を築くことができることで、コンソ事業への理解と共感が深まり、他の事業への展開や賛助会員への新規参入にも繋がっている。</p> <p>当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となるため、来期は事業費・人件費の面で同様の事業継続は困難となる。ただ「ひょうご留学生インターンシップ」は日本での就職を希望する留学生にとって、また留学生を採用したい地元企業にとっても成果が出せるプログラムであり、2024年度からの三省合意インターンシップタイプ3に位置づけられることで更なる活用が見込まれることから、プログラム内容を精査した上で、加盟大学の理解と協力を得て連携を更に深め、プログラム推進に励みたい。</p>			

■自己評価基準
(対到達目標)

- 4: 当初計画を上回って達成
- 3: 当初計画を達成
- 2: 当初計画をやや下回った
- 1: 当初計画を下回った

■自己評価基準
(対継続性)

- 4: 本プログラムは継続すべき
- 3: 本プログラムは継続しても良い
- 2: 本プログラムの継続には改善が必要
- 1: 本プログラムは中止すべき

理事会からの 改善提案 (次年度事業計画に反映)	当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となる。「ひょうご留学生インターンシップ」は日本での就職を希望する留学生にとって、また留学生を採用したい地元企業にとっても過去14年間にわたり、成果をだしてきたプログラムであるため、外部資金獲得に向けて尽力していただきたい。来期は、HP等での情報発信・共有等を中心に実施するなど、当該プログラムを持続可能な形態を検討し、推進していただきたい。
--------------------------------	---

【2022年度 キャリア委員会 事業報告(④取組1-2)】

【④取組1】達成目標	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上		
【④取組1】活動指標	各年参加者数500名以上		
課題④	外国人留学生の受け入れ体制の強化・定着促進		
達成目標【④取組1-2】	本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上		
課題を解決する取組概要【④取組1-2】	留学生向け就職支援・キャリア教育プログラムの実施(県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業) "ひょうご神戸"の国際性を生かしたグローバル人材育成を目指した事業を展開する。プラットフォームを活用した留学生就職促進事業として、大学、行政、企業が連携し、新たなネットワークを構築することで留学生の受入環境づくりを促進し、卒業後の県内企業への就職の動機付けを図る。		
活動指標【④取組1-2】	参加留学生数:450名以上(2022年度)		
内容(結果)	<p>【兵庫県産業労働部国際局国際課 受託事業「県内企業海外事業展開に係る留学生生活用事業」】</p> <p><2022年度実績>参加留学生数:1419名、日本企業・文化理解が深まった割合:91% → 対到達目標達成</p> <ol style="list-style-type: none"> 外国人向け合同企業説明会(2022年6月22日) 参加者:(学生)848名(加盟校15校93名)、企業34社 ビジネス日本語講座(計4回) <ol style="list-style-type: none"> 2022年6月8日(水) インターンシップ修了生との懇談会 参加者:(学生)8校48名、(企業)1社1名 2022年6月25日(土) ビジネスマナー研修 参加者:(学生)8校43名、(企業)1社1名 2022年7月2日(土) オンライン就職セミナー 参加者:(学生)8校38名、(企業)3社3名、(教職員)2社2名 ①-1 2023年1月28日(土) 就活プランニングワークショップ 参加者:(学生)5校30名(企業)6社7名(教職員)2校5名(行政等)1団体1名 ①-2 2023年3月26日(日) 就活プランニングワークショップ 参加予定:(学生)30名(企業)6社8名(教職員)1校4名 日本語能力試験N1集中講座(計3回) <ol style="list-style-type: none"> ①②③2022年6月4日(土) 参加者(延べ):(学生)8校69名、(企業)1社6名 就職活動Q&A講座(計4回) <ol style="list-style-type: none"> 2022年6月8日(水) インターンシップガイダンス *オンラインで実施 参加者:(学生)8校46名(企業)1社1名 2022年6月11日(土) 推薦学生と企業の交流会 参加者:(学生)8校42名(企業)15社24名(教職員)4校4名(行政等)1名 2022年7月2日(土) 外国籍社員との交流会 参加者:(学生)8校38名(企業)3社3名(教職員)2校2名 2022年9月17日(土) 留学生×企業×大学による意見交換 参加者:(学生)8校35名(企業)17社22名(教職員)9校10名 低学年向け就活準備講座の実施(計3回) <ol style="list-style-type: none"> 2022年7月9日(土) 「道」を学ぶパネルディスカッション 参加者:(学生)8校64名(企業)2社2名(教職員)5校9名(一般)1名 2022年9月17日(土) 日本企業で働く魅力とは?(先輩に聞く) 参加者:(学生)8校37名、(企業)1社1名 ③-1 2022年10月15日(土) あるある日本 参加者:(学生)16校31名、(企業)3社5名、(教職員)2校2名 ③-2 2023年1月20日(金) あるある日本 参加者:(学生)1校73名、(企業)1社1名、(教職員)1校7名 兵庫県で活躍する外国籍社員動画(計3本) <ol style="list-style-type: none"> メーカー編 伊福精密株式会社 10月21日公開 閲覧数263回(2023年3月14日現在)(企業)1社2名 医療編 医療法人社団星晶会 12月27日公開 閲覧数174回(2023年3月14日現在)(企業)1社2名 人材派遣編 株式会社パソナ 2023年1月25日公開 閲覧数248回(2023年3月14日現在)(企業)1社2名 就活の概要や対策の情報動画(計2本) <ol style="list-style-type: none"> ①日本の就活を知る/企業の探し方 3月31日公開 (学生)3校4名、(企業)2社5名 ②日本企業への就活準備を始めよう 3月31日公開 (学生)3校4名、(企業)2社5名 大学と留学生採用に関心ある企業との情報交換会 2022年9月17日(土) (企業)15社20名、(教職員)8校9名 <p>※「ひょうご留学生インターンシップ(キャリア委員会事業)」も国際課受託事業となります。</p>		
新しい試み等(事業計画に記載)	日本での就職を希望する留学生が、就職に苦戦する要因の一つとして準備開始の遅さが挙げられている。留学生たちが大学入学後の早い段階で就職活動準備を始める必要性を理解し取り組めるよう、今年度は2種類の新しい取り組みを行う。1. 低学年(1,2年生)向け就活準備講座の実施(計2回)。2. 留学生向け就職ガイダンス動画作成とHP上公開(計2本)。これにより、低年次の留学生に就職活動準備の意義を認識させ、早期に準備を開始できるよう支援を行う。		
事業収支	収入	支出	収支
	11,498,000	11,498,000	0
自己評価【12/6:第3回委員会メール審議時内容】	【対到達目標】	4	【対継続性】
	<p>3</p> <p><達成目標>本プログラムへの参加を通じて日本企業・文化理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の70%以上 <活動指標>参加留学生数:450名以上(2022年度) <2022年度実績>参加留学生数:1315名(11月末現在)、本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合:参加学生の91%</p> <ol style="list-style-type: none"> 留学生に向けた取組 <ol style="list-style-type: none"> ①留学生のための合同企業説明会 3年ぶりの対面での合同説明会で800人以上の留学生が参加し、16名内定(9月末時点)。コロナ以前よりも参加者が倍増し、留学生の県内企業就職への関心の高まりが現れた会となった。この合同企業説明会は、コンソの独自事業として2013年に開始以来(神戸市との共催は2017年から)、10年間で延べ8,381名の留学生が参加し、117名の内定実績を出している。また、この参加企業から「ひょうご留学生インターンシップ」受入企業に繋がり、インターンシップ修了生の事後フォロー企業としても関わりを持つなど、留学生インターンシッププログラムとも密接に関わる事業となっている。 ②就活準備講座の開催 今年度新たな取り組みとして、低学年の段階から留学生が日本への理解と関心を深め、日本企業への就職に興味付けを行う講座を開催した。親しみやすいわかりやすいテーマから、現在の日本企業に通じる考え方や根底にある精神への理解を深める工夫をし、就活に向けて活用できる心構えの醸成に努めた。また、就活を終えたばかりの先輩学生から就活の実体験を聞く機会も設け、実際の就活のイメージを持ち、必要な時期に効果的に行動できる情報を提供することで留学生の就活意識を高めた。他にも、日本で働くために必要な知識や心構え、実践的なノウハウを得る契機を多面的に開催した。 ③留学生向け動画作成 留学生がアクセスしやすい情報である動画を用い、県内企業で活躍する外国籍社員と採用企業の想いや、わかり易い就活情報等を6か国語で発信する。 大学と企業に向けた取組 <ol style="list-style-type: none"> ①留学生採用に関心ある企業と大学の情報交換会の開催 大学と企業が共に外国人留学生の特性を理解し、企業で活躍するための指導と受け入れ体制づくりについて情報交換する時間となった。企業からは実際の採用ケースの報告もあり、県内企業が外国籍社員活用のために必要な社内体制づくりへの提言、大学には留学生への期待や欲しい人物像についての意見交換があった。また、大学と企業が密に連携することにより優秀な留学生の教育と活用の循環が活発に生まれることへの期待が示された。 <p>当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となるため、来期は事業費・人件費の面で同様の事業継続は困難となる。日本での就職を希望する留学生にとって、また留学生を採用したい地元企業にとってお互いを知り、出会う機会である「外国人留学生のための合同企業説明会」は、留学生インターンシッププログラム継続のためにも不可欠であるため、引き続き神戸市と協力して事業を継続していきたい。</p> 		
■自己評価基準(対到達目標)	4:当初計画を上回って達成 3:当初計画を達成 2:当初計画をやや下回った 1:当初計画を下回った	■自己評価基準(対継続性)	4:本プログラムは継続すべき 3:本プログラムは継続しても良い 2:本プログラムの継続には改善が必要 1:本プログラムは中止すべき
理事会からの改善提案(次年度事業計画に反映)	当該事業は兵庫県からの受託事業の一環として実施してきたが今年度で終了となるため、外部資金獲得に向けて尽力していただきたい。来期は、「外国人留学生のための合同企業説明会」など、実施事業を絞って取り組んでいただきたい。		

【2022年度 キャリア委員会 事業決算】

(単位:円)

	予算	決算案	①取組1			①取組2			④取組1-1			④取組1-2			委員会 予算・決算案			
			「大学キャリアセンターと連携した県内大学生の地元就職促進プロジェクト」			「県内企業・団体等の魅力を情報発信」			「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」(ひょうご留学生インターンシップ)			「留学生向け就職支援・キャリア教育プログラム」(県内企業海外事業展開に係る留学生活用事業)						
			内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	内訳	予算額	決算案	
収入	会費収入	500,000	500,000							400,000	400,000					100,000	100,000	
	助成事業収入	0	0															
	受託事業収入	17,434,000	17,434,000	兵庫県受託事業	5,936,000	5,936,000							兵庫県受託事業	11,498,000	11,498,000			
	プログラム収入	0	0															
	雑収入	0	0															
	戻入金	0	0															
	計	17,934,000	17,934,000		5,936,000	5,936,000		0	0		400,000	400,000		11,498,000	11,498,000		100,000	100,000
支出	会議費	0	49,440			11,112									0	合同模擬GD昼食・動画お土産代	38,328	
	旅費交通費	650,000	358,510	バス借上げ他、打合せ交通費	450,000	156,150							バス借上げ他、打合せ交通費	200,000	202,360			
	通信運搬費	550,000	714,729	チラシ送付費	200,000	222,679							チラシ送付費、HP運営管理	350,000	492,050			
	消耗品費	350,000	577,015	準備消耗品費	150,000	14,692							準備消耗品費	200,000	562,323			
	新聞図書費	0	20,993	新聞図書費		7,643							新聞図書費		13,350			
	印刷製本費	620,000	798,980	チラシ等印刷費	200,000	306,739							チラシ等印刷費	350,000	492,241	資料印刷費	70,000	0
	光熱水料費	0	0			0												
	賃借料	900,000	1,106,188	イベント会場費・PCリース	300,000	537,856							イベント会場費・コピー機リース	600,000	562,172	キャリア委員会会場費		6,160
	保険料	0	58,290	保険料		58,290									0			
	謝金	3,639,000	2,431,178	講師謝金	571,000	588,317							講師謝金・動画作成費	3,068,000	1,842,861			
	租税公課	30,000	30,000	収入印紙	10,000	10,000							収入印紙	20,000	20,000			
	支払手数料	30,000	42,636	振込手数料	10,000	3,985							振込手数料	20,000	37,276	振込手数料		1,375
	諸会費	105,000	62,500	会費	45,000	57,000							セミナー等参加費	30,000	5,500	講師軽食等	30,000	0
	委託費	400,000	845,940	委託費		15,400					キャリアアドバイザー派遣	400,000		動画作成費		830,540		
	人件費	10,660,000	10,383,464	コーディネーター費	4,000,000	3,946,137							コーディネーター費用	6,660,000	6,437,327			
	雑費	0	0			0									0			
	計	17,934,000	17,479,863		5,936,000	5,936,000		0	0		400,000	0		11,498,000	11,498,000		100,000	45,863

収入-支出	454,137
-------	---------